



# 町長回誌 No.127

町長日誌の第127号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

## 5月17日(土)

16日から降り出した雨は、融雪後一番の降雨量となり今日も一日中降ったり止んだりの一日です。作物にとっては恵みの雨なのですが、気温が低すぎるのにはお手上げです。峠では降雪のため通行止めが相次ぎ、新聞などの配送にも影響が出ました。明日は、少年野球大会やマラソン大会と公園まつりなどの屋外行事が予定されていますが、ちょっと心配な空模様です。オホーツク海沿岸では、5月や6月であってもオホーツク海に低気圧が居座ると、雪が降ったり低温が続いたりすることがよくあります。昨年もゴールデンウィークに雪が降り、その後5月25日まで低温・曇天が続き27日には高温になりましたが6月2日から再び低温が続く農業や漁業への被害が心配されたのを覚えていますでしょうか？ 建設工事中の国保病院は、現在基礎部分の工事を行っています。これまで殆ど大きな雨が降る事が無かったので、鉄筋組みや型枠組み、生コン打ち等の工事が順調に行われています。

## 4月24日(木)

全道144の町村で組織しています「北海道町村会」の第68回定期総会が札幌市で開催されました。この会は、元々大正11年に創立された「北海道町村長会」が始まりで、町村の地位向上や行財政制度の確立が目的ですが、戦時中は不足する事務用品のあっせんも行って行っていました。戦後、地方自治法が改正されたのを受け昭和23年に「町村会」と名称が変わり今日に至っています。全道市長会と共に北海道の行政を支えてきました。さて、全道の町村数ですが、昭和22年の「262」をピークに合併などが繰り返され現在の144町村へと減少しました。なかでも昭和22年には203あった村が現在では15と激減しています。因みに、オホーツク管内では戦後、2市6町22村でしたが合併により昭和29年に紋別市が誕生しました。当時の6町は美幌・津別・斜里・遠軽・留辺蘂・紋別でした。現在、管内は3市14町1村となっています。

## 5月12日(月)

網走市において、ベトナム政府のホア副大臣との昼食懇談会に出席してきました。ホア氏は、日本の厚生労働省にあたる「労働・傷病兵・社会問題省」副大臣です。現在ベトナムでは、経済発展に不可欠な人材育成のため、世界中に若者を派遣しており、北海道の水産や農業などでも研修生を受け入れてもらいたいとの事でした。管内では現在中国の研修生が水産を中心に大勢研修されており貴重な労働力源となっていますが、これも不足しがちなのが現状です。興部町においても70人ほどの中国人研修生が活躍されていますが、特に酪農や水産加工場では日本人の雇用がままならず、この研修生に頼っている状況です。このような状況ですから町としても、今回の副大臣来訪を契機としてベトナム研修生の受け入れに向け検討したいと考えています。話はそれますが、ベトナム戦争が終結して約40年経ちますが、戦争の傷はまだ癒えておらず「傷病兵」という冠の省庁がある事に私は驚くと共に、勝っても負けても戦争が如何に長い間人々を苦しめるものなのか？ という切ない気持ちになりました。

今回の低気圧は雨だけでなく風も強かったため、海も大時化となり越波により岸壁にあった稚貝養殖の皆さんの施設が被害を受けたようです。心からお見舞いを申し上げます。幸い稚貝の放流には影響ないようですが、この季節としては珍しい時化であったようです。

しかし、今回の雨は農地の地温を上げ牧草や作物の生育を促進させるでしょうし、低かった海水温もかき混ぜられることにより上昇し、良い効果もあるものと期待したいと思います。さて、6月1日は中学校、8日は小学校の運動会です。天候に恵まれることを願ひましてペンを置きます。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願ひます。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。